

令和3年度第3回「しがwebアンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和3年 11 月 26 日(金)～ 12 月 7 日(火)
- (5) 調査会社 株式会社都市設計総合研究所

3 調査項目

マザーレイクゴールズ(MLGs)に関する調査

4 主な調査結果

Q1 あなたは、SDGs を知っていますか。(答えはひとつだけ)

- | | |
|--|-------|
| 1 位:SDGsの言葉は知っている(聞いたことがある)が、
内容までは知らない | 46.6% |
| 2 位:SDGsの内容まで知っている | 34.4% |
| 3 位:知らない | 19.0% |

・「SDGsの言葉は知っている(聞いたことがある)が、内容までは知らない」が最も多く、46.6%となっており、次いで「SDGsの内容まで知っている」が 34.4%となっており、SDGsという言葉自体の認知度は、81%と極めて高い。

・40歳未満で「知らない」と回答した人は各年代で 20%を超え、30 歳未満では、28.0%となっており、若年層での認知度が低い。

Q2 あなたは、SDGsに興味や関心がありますか。(答えはひとつだけ)

- | | |
|--------------|-------|
| 1 位:興味や関心がある | 53.2% |
| 2 位:興味や関心がない | 46.8% |

・「興味や関心がある」が 53.2%と半数を若干超える程度となっており、「SDGs」の認知度と比較して、「興味や関心がある」が少なくなっている。特に、40 歳未満では、「興味や関心がない」と回答した人は半数以上となっている。

Q3 Q2で「1. 興味や関心がある」と回答した方にお尋ねします。あなたはSDGsに取り組んでいますか。(答えはひとつだけ)

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1 位:取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい | 60.2% |
| 2 位:取り組んでいる | 35.7% |
| 3 位:取り組んでいないし、今後もし取り組むつもりはない | 4.1% |

・「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」が最も多く、60.2%、次いで「取り組んでいる」が35.7%となっており、現時点で取り組んでいる人は、全体の20%未満であり、今後の取組が期待される。

Q4 あなたは、マザーレイクゴールズ(MLGs)を知っていますか。(答えはひとつだけ)

- | | |
|--|-------|
| 1 位:知らない | 74.0% |
| 2 位:MLGsの言葉は知っている(聞いたことがある)が、
内容までは知らない | 19.8% |
| 3 位:MLGsの内容まで知っている | 6.2% |

・「知らない」と回答した人が最も多く、74.0%となっており、いずれの世代も70%以上となっており、特に女性は80.3%となっている。

Q5 あなたは、マザーレイクゴールズ(MLGs)のロゴマークとキーコンセプト「変えよう、あなたと私から」についてどう思いますか。(答えはひとつだけ)

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 位:ロゴマークもキーコンセプトも良いと思う | 59.4% |
| 2 位:わからない | 22.2% |
| 3 位:ロゴマークは良くないと思うが、キーコンセプトは良いと思う | 8.4% |
| 4 位:ロゴマークは良いと思うが、キーコンセプトは良くないと思う | 6.6% |
| 5 位:ロゴマークもキーコンセプトも良くないと思う | 3.4% |

・「ロゴマークもキーコンセプトも良いと思う」が最も多く、59.4%と半分以上を占め、ロゴマークとキーコンセプトに肯定的な人が多いことが窺える。また、男性に比べて女性は10.1%多い65.0%となっており、女性の方が肯定的に受け止めている。

・次いで「わからない」と回答した人が22.2%であり、全体の1/4近くとなっている。

Q6 あなたは、2030年のSDGsの達成に向け、琵琶湖を切り口に滋賀県なりのゴールを設定するマザーレイクゴールズ(MLGs)に共感しますか。(答えはひとつだけ)

- | | |
|-----------|-------|
| 1 位:共感する | 60.6% |
| 2 位:わからない | 31.6% |
| 3 位:共感しない | 7.8% |

・「共感する」が最も多く、60.6%と半数以上の人、特に男性では65.0%(女性は55.2%)が好意的に受け止めていることが窺える。

・次いで「わからない」が31.6%と1/3近くとなっており、特に女性では37.2%(男性は27.1%)の人が、共感に至る具体的なイメージがわからない人も多いことが窺える。

Q7 マザーレイクゴールズ(MLGs)では、琵琶湖を切り口とした13のゴールを設定しています。あなた自身は、マザーレイクゴールズ(MLGs)の13ゴールの中で、どのゴールに共感しますか。(答えは3つまで)

1 位:水辺も湖底も美しく	38.8%
2 位:清らかさを感じる水に	29.9%
3 位:多様な生き物を守ろう	26.2%
4 位:恵み豊かな水源の森を守ろう	25.6%
5 位:豊かな魚介類を取り戻そう	25.2%
6 位:びわ湖を楽しみ 愛する人を増やそう	16.5%
7 位:気候変動や自然災害に強い暮らしに	14.3%
8 位:水とつながる祈りと暮らしを次世代に	11.9%
9 位:わからない	10.4%
10 位:びわ湖のためにも 温室効果ガスの排出を減らそう	9.1%
11 位:森川里湖海のつながりを健全に	8.9%
12 位:生業・産業に地域の資源を活かそう	6.3%
13 位:地元も流域も学びの場に	4.1%
14 位:つながりあって目標を達成しよう	3.7%
15 位:どれも共感しない	2.0%

・「水辺も湖底も美しく」が 38.8%と最も多く、次いで「清らかさを感じる水に」が 29.9%となっており、琵琶湖や川など身近に感じる水環境の保全を目指すものが共感を呼んでいるものと考えられる。

Q8 あなたは、マザーレイクゴールズ(MLGs)の 13 ゴールの中で、特に重要性が高く、達成すべきだと思うのは、どのゴールだと思いますか。(答えは 3 つまで)

1 位:水辺も湖底も美しく	28.9%
2 位:清らかさを感じる水に	23.0%
3 位:多様な生き物を守ろう	22.6%
4 位:恵み豊かな水源の森を守ろう	19.3%
豊かな魚介類を取り戻そう	19.3%
6 位:わからない	11.9%
7 位:水とつながる祈りと暮らしを次世代に	10.8%
8 位:びわ湖を楽しみ 愛する人を増やそう	9.1%
気候変動や自然災害に強い暮らしに	9.1%
10 位:びわ湖のためにも 温室効果ガスの排出を減らそう	7.6%
11 位:森川里湖海のつながりを健全に	5.4%
12 位:生業・産業に地域の資源を活かそう	5.0%
13 位:つながりあって目標を達成しよう	4.3%
14 位:地元も流域も学びの場に	1.7%
15 位:どれもあてはまらない	0.4%

・「水辺も湖底も美しく」が 28.9%、次いで「清らかさを感じる水に」が 23.0%となっており、以下、「わからない」を除き、Q8(共感する項目についての設問)とほぼ同様の順序となっている。

Q9 マザーレイクゴールズ(MLGs)の13ゴールの達成に向けては、具体的なアクションがあります。あなたは、どんなアクションに興味や関心がありますか。(答えは3つまで)

1 位:琵琶湖や河川、道路等における環境美化活動	38.0%
2 位:外来魚釣り等による生態系の保全活動	22.6%
3 位:地産地消、省エネやリサイクル推進による温暖化対策	20.4%
4 位:稚魚の放流等による在来種の保全活動	19.3%
特にない	19.3%
6 位:ヨシの保全に関わる活動	18.4%
7 位:水草や侵略的外来水生植物(オオバナミズキンバイ等)の除去活動	16.1%
8 位:琵琶湖博物館等、環境関連施設への訪問	13.7%
9 位:棚田や里山保全に関わる活動	10.0%
10 位:間伐等、森林保全に関わる活動	9.5%
11 位:湖魚や湖魚を使った惣菜等の購入による漁業支援	8.9%
12 位:琵琶湖に関するフォーラム等、環境関連行事への参加	8.2%
13 位:その他	0.2%

・「琵琶湖や河川、道路等における環境美化活動」が 38.0%と最も多く、次いで「外来魚釣り大会等による生態系の保全活動」が 22.6%、「地産地消、省エネやリサイクル推進による温暖化対策」が 20.4%などとなっており、地道な取組に関心を寄せる人が多いことが窺える。

・「特にない」が 19.3%と、興味、関心のない層も一定数存在する実態が窺える。

Q10 令和3年7月1日にマザーレイクゴールズ(MLGs)が策定されて以降、MLGsに関する多種多様なワークショップを実施してきました。あなたは、どんなワークショップに参加してみたいと思いますか。(答えは3つまで)

1 位:琵琶湖博物館を回ってMLGsを見つけよう！～MLGsってなあに？～	28.0%
2 位:体感びわ湖学 マザーレイクゴールズ Special (琵琶湖でSUP体験+MLGsアクションゲーム)	23.9%
3 位:どれも参加したいとは思わない	22.8%
4 位:川チャリ～余呉川を自転車で下ってみよう～	19.7%
5 位:クリエイティブスタディ in BIWAKO (琵琶湖やアートをテーマに「今日の一枚」を撮影)	19.3%
6 位:わからない	18.2%
7 位:月イチおしゃべり会(ゲストによる講演+座談会)	9.8%
8 位:MLGs WEBライター講座	8.9%
9 位:MLGs グローバルミーティング(琵琶湖をテーマに英語でディスカッション)	7.4%
10 位:その他	0.4%

・「琵琶湖博物館を回ってMLGsを見つけよう！～MLGsってなあに？～」が 28.0%と最も多く、次いで、「体感びわ湖学 マザーレイクゴールズ Special(琵琶湖でSUP体験+MLGsアクションゲーム)」が 23.9%となっており、講座等よりも、実体験型のワークショップが人気である。

- ・女性に限れば、「琵琶湖博物館の見学」よりも「体感びわ湖学」が最も多く、29.1%、男性では、「琵琶湖博物館の見学」が最も多いものの、「体感びわ湖学」よりも「川チャリ」や「クリエイティブスタディ」が多く、共に 22.7%となっており、男女によって人気の差がみられる。
- ・「どれも参加したいとは思わない」や「わからない」もそれぞれ 20%前後と、全体の約 1/5を占め、Q9で具体的なアクションに関心や興味が特にないと回答した人の割合に近い数字となっている。

Q11 琵琶湖や琵琶湖を取り巻く自然との共生のために、あなたが実施している(または、実施したい)アクションについて教えてください。(自由記述)

500名のうち、218名の方(43.6%)からご意見をいただいた。

《主なご意見》

- ・ゴミ拾いや削減、分別を挙げた人は、75人であった。
 - ・汚水の排出防止、節水などを挙げた人は、59人であった。
 - ・琵琶湖の美化(上記のゴミ拾いや排水の配慮などと一部重複)を挙げた人は、43人であった。
 - ・その他、環境に配慮した洗剤の使用などを挙げた人は 13人、外来魚駆除等を挙げた人は 7人であった。
 - ・自然との共生という大きな命題ではあるが、実際には、身近で地道な環境美化活動を行っている、または行おうとしている人が多いことが窺える。
 - ・具体的には、
 - 「時々プロギング(ゴミ拾いをしながらジョギング)をしている。」
 - 「ゴミを増やさない、資源ごみのリサイクル回収など、気を遣っている。」
 - 「外来魚を釣ったら、リリース箱に入れるか、調理して食べたい。」
 - 「庭に生えている木の間には花や野菜を植え、生ゴミは庭の土に埋める。」
 - 「排水に油汚れを流さないよう、食器を洗う前に拭き取る。地元の野菜を購入する。」
 - 「琵琶湖の状態に関心を持つことが全ての始まりだと思う。水源地や、その水を育む森林保全が大切だと思う。」
- といったご意見が寄せられた。

